

基本目標 I あらゆる分野での男女共同参画の促進

施策の基本的方向 1 施策や方針決定過程などへの女性の参画の促進

施策の内容 (1) 事業所・各種団体への女性登用の働きかけ

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
勤労者実態調査の実施	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、女性登用向上を図ります。 ・無作為抽出250社対象 アンケート方式	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	I-1-1
勤労者実態調査のあり方の検討	性別にとらわれない登用向上が、より図られるよう実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		
女性の社会参画の啓発	広報紙、ホームページなどを通じて、企業や団体などへの女性の社会参画の啓発を行います。	町民課(企画課)	男女共同参画週間に合わせ、広報さむかわ6月号に職場と家庭の両立を上手くこなしている町内で働く女性を紹介した。	休止	休止	休止	休止	町の広報紙、ホームページによる情報提供が不十分だった。今後は啓発の仕方など検討する必要がある。	I-2-2
各種団体役員への女性登用の促進	町内各種団体などに対し、役員に女性登用が図られるよう会議などの場を通して働きかけをしていきます。	各課	審議会における女性委員の登用を推進するよう各課に通知文を送付	休止	休止	休止	休止	・団体によっては、女性の割合が高いものがある。 ・偏りをなくしていくことが理想。	I-1-2

施策の内容 (2) 町審議会などへの女性委員の登用の推進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
女性登用率の向上	町内各種審議会、委員会などの職指定委員の見直しをすることにより、女性委員の拡大を図ります。	各課	審議会における女性委員の登用を推進するよう各課に通知文を送付	休止	休止	休止	休止	各審議会・委員会などの主管課へ女性委員の登用を推進するよう通知していきます。	I-1-2
職指定委員の見直し	町内各種審議会、委員会などでの女性登用を呼びかけ、登用率の向上を図ります。	町民課(企画課)	審議会における女性委員の登用を推進するよう各課に通知文を送付	休止				各審議会・委員会などの主管課へ女性委員の登用を推進するよう通知していきます。	I-1-2

施策の内容 (3) 均衡ある町職員採用や管理職への女性登用の推進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
管理職への女性登用の推進	能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	総務課	4月1日現在 女性管理職数0人(0.0%) (参考) 一般行政の女性職員数4人(21.9%)5	4月1日現在 女性管理職数1人(2.7%) (参考) 一般行政の女性職員数7人(22.7%)5	4月1日現在 女性管理職数3人(6.3%) (参考) 一般行政の女性職員数6人(23.0%)5	4月1日現在 女性管理職数5人(10.6%) (参考) 一般行政の女性職員数57人(24.3%)5	4月1日現在 女性管理職数7人(15.9%) (参考) 一般行政の女性職員数7人(24.7%)5		I-1-1

施策の基本的方向 2女性の人材育成

施策の内容 (1)女性の人材育成の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、女性登用向上を図ります。 ・無作為抽出250社対象アンケート方式	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	I-1-1(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	性別にとらわれず、人材育成がより図られるよう、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		
パソコン講座の充実	女性の就業能力向上のための各種講座を開催します。	産業振興課	第1回 ・エクセル中級コース 4名 ・ワード中級コース5名 第2回 ・エクセル初級コース 10名 ・ワード初級コース 11名 ・エクセル中級コース 10名 ・ワード中級コース 11名	第1回 ・パソコン入門コース 12名 ・エクセル初級コース 11名 ・ワード初級コース 10名 第2回 ・パソコン入門コース 10名 ・エクセル初級コース 12名 ・ワード初級コース 8名 ・エクセル中級コース 9名 ・ワード中級コース 9名	第1回 ・パソコン入門コース 12名 ・エクセル初級コース 12名 ・ワード初級コース 8名 第2回 ・パソコン入門コース 10名 ・エクセル初級コース 12名 ・ワード初級コース 10名 第3回 ・エクセル中級コース 12名 ・ワード中級コース 12名 ※再就職支援要素を含む。	第1回 ・パソコン入門コース 10名 ・エクセル初級コース 12名 ・ワード初級コース 11名 第2回 ・パソコン入門コース 9名 ・エクセル初級コース 13名 ・ワード初級コース 7名 第3回 ・エクセル中級コース 12名 ・ワード中級コース 12名 ※再就職支援要素を含む。	第1回 ・エクセル初級コース 7名 ・ワード初級コース 5名 第2回 ・エクセル中級コース 6名 ・ワード中級コース 7名	・自身のスキルアップのみを目的とする受講者と就労のためのスキルアップを目的とする受講者とを区別することができない。	1-2-1(1)
男女共同参画に関するセミナーの開催	男女のセミナーや男と女のおしゃれ講座、男女共同参画セミナー参加の推進を図ります。男性の参加も推進するとともに内容の充実を図ります。	町民課(企画課)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) はじめてのアサーティブトレーニング 平成18年11月9日(木)・16日(木)・22日(水) 参加者104名 (男12名、女90名)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) 子育て学級「勇気付けの子育て・夫婦のわち愛、思春期の子育て」 平成19年11月9日(金)・17日(土)・20日(火) 参加者24名(男2名、女21名)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 女性のためのセルフディフェンス 平成21年1月20日(火)・27日(火) 参加者15名(女性のみ)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) リラクゼーション・護身術 平成22年1月19日(火)・26日(火) 参加者15名(女性のみ)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 護身術で守ろう、自分のことから 平成23年2月4日(金)・18日(金) 参加者25名(女性のみ)	・定員に対して参加者が少ない。 ・参加できる世代が限られてしまう。 ・土、日の曜日開催など工夫が必要。	I-2-2(2) III -2-(3) IV -1-(1) IV -1-(2) IV -2-(1)
さむかわ町民大学や出前講座の開催	各分野の講座、教室の実施によって女性の人材育成を図ります。	生涯学習課	<さむかわ町民大学> 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計117講座(391回) 延べ参加者10,706人 <出前講座> 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数4講座 職員派遣数4件 利用団体数4団体 受講者数99人	<さむかわ町民大学> 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計134講座(491回) 延べ参加者13,517人 <出前講座> 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数8講座 職員派遣数8件 利用団体数7団体 受講者数271人	<さむかわ町民大学> 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計126講座(441回) 延べ参加者10,652人 <出前講座> 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数3講座 職員派遣数4件 利用団体数3団体 受講者数128人	<さむかわ町民大学> 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計139講座(511回) 延べ参加者12,372人 <出前講座> 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数9講座 職員派遣数11件 利用団体数7団体 受講者数200人	<さむかわ町民大学> 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計127講座(450回) 延べ参加者11,046人 <出前講座> 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数10講座 職員派遣数11件 利用団体数8団体 受講者数226人	各種講座等事業実施の情報提供が充分とは言えないことから、年間事業のダイジェスト版を全戸配布したい。	I-2-2(2) III-2-2(4) IV-1-2(2) IV-2-1(1)

施策の内容 (2)女性の人材の情報提供

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
社会的活躍をしている女性の情報提供	広報紙、ホームページなどを通じて社会的活躍をしている女性の情報提供をします。	町民課(企画課)	男女共同参画週間に合わせ、広報さむかわ6月号に、職場と家庭の両立を上手くこなしている町内で働く女性を紹介した。	休止	休止	休止	休止	町の広報紙のみではなく、ホームページをもっと有効に活用する必要がある。	

基本目標 II 男女の人権の尊重

施策の基本的方向 1 女性に対する暴力の根絶

施策の内容 (1) 配偶者などからの暴力に対する意識啓発と相談事業の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
DV窓口対応の充実	相談室(スペース)の設置や専門相談員の配備などを検討します。	町民課	相談室(スペース)の設置専門相談員の配備について検討	庁舎1階に相談室を設置、専門相談員の配置について検討した結果、担当職員のレベルアップを図ることとした。				検討した結果、専門相談員は配置せず、担当職員のレベルアップを図った。	
緊急一時保護事業への支援や関係機関との連携	関係機関との連携を図り、被害者の保護と自立に向けた支援を行います。	企画課(町民課)	神奈川県、寒川町、民間団体の協働による女性への暴力に対する緊急一時保護事業の協定締結。	神奈川県、寒川町、民間団体の協働による女性への暴力に対する緊急一時保護事業の協定締結。	神奈川県、寒川町、民間団体の協働による女性への暴力に対する緊急一時保護事業の協定締結。	神奈川県、寒川町、民間団体の協働による女性への暴力に対する緊急一時保護事業の協定締結。	神奈川県、寒川町、民間団体の協働による女性への暴力に対する緊急一時保護事業の協定締結。	引き続き、被害者の保護と自立に向けた支援を行う。	Ⅱ－1－(1)

施策の内容 (2) セクシュアル・ハラスメント防止のための意識啓発の推進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
セクハラ防止の意識啓発	関係機関との連携や広報紙などセクシュアル・ハラスメント防止のための意識啓発を進めます。町職員においては、研修の実施や職員相談・委員会・相談窓口などの制度の周知を図ります。	総務課	セクシュアルハラスメント苦情処理委員会、苦情処理担当相談員の設置 処分件数0件 相談件数0件	セクシュアルハラスメント苦情処理委員会、苦情処理担当相談員の設置 処分件数0件 相談件数0件	セクシュアルハラスメント苦情処理委員会、苦情処理担当相談員の設置 処分件数0件 相談件数0件	セクシュアルハラスメント苦情処理委員会、苦情処理担当相談員の設置 処分件数0件 相談件数0件	セクシュアルハラスメント苦情処理委員会、苦情処理担当相談員の設置 処分件数0件 相談件数0件		Ⅱ－1－(2)
人権相談業務	セクシュアル・ハラスメントなどの人権相談を行い、性別にかかわらず人権の尊重を図ります。	町民課	月2回実施	月2回実施	月2回実施	月2回実施	月2回実施	相談件数が少ない。利用促進を図るため、周知をしていきたい。	Ⅱ－2－(1)

施策の基本的方向 2 人権に対する相談・情報提供の充実

施策の内容 (1) 人権に対する相談事業の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
人権相談業務(再掲)	セクシュアル・ハラスメントなどの人権相談を行い、性別にかかわらず人権の尊重を図ります。	町民課	月2回実施	月2回実施	月2回実施	月2回実施	月2回実施	相談件数が少ない。利用促進を図るため、周知をしていきたい。	Ⅱ－2－(1)

施策の内容 (2) 人権に関する情報提供の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
人権尊重のための情報提供の充実	広報紙やホームページ、町の公共施設などを通じて情報提供します。	町民課(企画課)	広報さむかわに「女性の人権ホットライン」「配偶者等からの暴力に関する相談窓口」の案内を掲載 庁舎の女子トイレに「DV相談窓口のご案内」パンフレットを設置	広報さむかわに「女性の人権ホットライン」「配偶者等からの暴力に関する相談窓口」の案内を掲載 庁舎の女子トイレに「DV相談窓口のご案内」パンフレットを設置	広報さむかわに「女性の人権ホットライン」「配偶者等からの暴力に関する相談窓口」の案内を掲載 庁舎の女子トイレに「DV相談窓口のご案内」パンフレットを設置	広報さむかわに「女性の人権ホットライン」「配偶者等からの暴力に関する相談窓口」の案内を掲載 庁舎の女子トイレに「DV相談窓口のご案内」パンフレットを設置	広報さむかわに「女性の人権ホットライン」「配偶者等からの暴力に関する相談窓口」の案内を掲載 庁舎の女子トイレに「DV相談窓口のご案内」パンフレットを設置	引き続き周知徹底を図る。	Ⅱ－1－(1)
男女共同参画に関するセミナーの開催(再掲)	男女のセミナーや男と女のおしゃれ講座、男女共同参画セミナー参加の推進を図ります。男性の参加も推進するとともに内容の充実を図ります。	町民課(企画課)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) はじめてのアサーティブトレーニング 平成18年11月9日(木)・16日(木)・22日(水) 参加者104名 (男12名、女90名)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) 子育て学級「勇気付けの子育て・夫婦のわかし愛、思春期の子育て」 平成19年11月9日(金)・17日(土)・20日(火) 参加者24名(男2名、女21名)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 女性のためのセルフディフェンス 平成21年1月20日(火)・7日(火) 参加者15名(女性のみ)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) リラクゼーション・護身術 平成22年1月19日(火)・26日(火) 参加者15名(女性のみ)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 護身術で守ろう、自分のことから 平成23年2月4日(金)・18日(金) 参加者25名(女性のみ)	・定員に対して参加者が少ない。 ・参加できる世代に限られてしまう。 ・土、日曜日の開催など工夫が必要。	I－2－(2)Ⅲ －2－(3)Ⅳ －1－(1)Ⅳ －1－(2)Ⅳ －2－(1)
			男と女のおしゃれ講座 心の健康考えましょう 平成19年2月3日(土) 加者45名(男17名、女28名)	男と女のおしゃれ講座 春休み親子クッキング教室 平成20年3月29日(土) 参加者9名(男2名、女7名)	男と女のおしゃれ講座 男の料理教室 平成21年3月28日(土) 参加者11名(男性のみ)	男と女のおしゃれ講座 男の料理教室 平成21年10月24日(土) 参加者21名(男性のみ)	2市1町藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町 広域連携事業 「男女共同参画週間特別講演会～男女がともに思いやり、いきいき過ごせるまちづくり～」 平成22年6月25日(金) 講師：前千葉県知事 堂本 暁子氏 2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業・講演会 「共に生きるフォーラムふじさわ」の案内を広報さむかわに掲載し、町民の参加を募った。		

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
さむかわ町民大学や出前講座の開催（再掲）	各分野の講座、教室について学習メニューから選び学習します。	生涯学習課	＜さむかわ町民大学＞ 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計117講座(391回) 延べ参加者10,706人 ＜出前講座＞ 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数4講座 職員派遣数4団体 利用団体数4団体 受講者数99人	＜さむかわ町民大学＞ 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計134講座(491回) 延べ参加者13,517人 ＜出前講座＞ 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数8講座 職員派遣数8団体 利用団体数7団体 受講者数271人	＜さむかわ町民大学＞ 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計126講座(441回) 延べ参加者10,652人 ＜出前講座＞ 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数3講座 職員派遣数4件 利用団体数3団体 受講者数128人	＜さむかわ町民大学＞ 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計139講座(511回) 延べ参加者12,372人 ＜出前講座＞ 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数9講座 職員派遣数11件 利用団体数7団体 受講者数200人	＜さむかわ町民大学＞ 各課の実施する町民向けの講座、教室 ・計127講座(450回) 延べ参加者11,046人 ＜出前講座＞ 町民グループの申請に応じてグループが主催する学習会等町職員を講師として派遣 依頼講座数10講座 職員派遣数11件 利用団体数8団体 受講者数226人	各種講座等事業実施の情報提供が充分とは言えないことから、年間事業のダイジェスト版を全戸配布したい。	I－2－(2) Ⅲ－2－(4) Ⅳ－1－(2) Ⅳ－2－(1)

施策の基本的方向 3生涯を通じた心身の健康づくりの充実

施策の内容 (1)男女の心からだの健康づくりの充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
健康相談の充実	健康スタッフ(保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士)による健康相談(いこいの家相談、成人の健康相談)を実施していきます。	健康課	＜健康相談＞ 89回のべ195人 ＜老人憩いの家健康相談＞ 12回のべ303人 ＜成人の健康相談＞ 6回400人 (健康課本庁舎移転に伴い、健康管理センターでの健康相談廃止)	＜健康相談＞ 107回のべ170人 ＜老人憩いの家健康相談＞ 12回 のべ269人 (相談及び臨時職員の雇用は年度末をもって終了) ＜成人の健康相談＞ 6回435人	＜健康相談＞ 116回のべ228人 ＜成人の健康相談＞ 6回388人 (看護師雇用を終了) (いこいの家健康相談終了)	＜健康相談実施＞ 147回のべ919人 ＜成人の健康相談実施＞ 6回318人 (歯科衛生士雇用を終了)	＜総合健康相談＞ 102回のべ300人 ＜成人の健康相談実施＞ 3回222人	事業参加の後、個別で相談を継続するケースが微増しています。(健康に関するあらゆる内容の相談に対応できるように職員個々に努力をしています。)	Ⅱ－3－(1) Ⅱ－3－(3) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)
パパ・ママ教室、母親教室の開催	妊娠中の健康管理、赤ちゃんのお世話の仕方、沐浴実習、お産のすすみ方、仲間づくり、妊娠中の栄養、食事記録のチェックやグループワークを行います。	健康課	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 76人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 56人 夫実人数 48人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 60人 夫実人数 54人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 65人 夫実人数 60人	年間4コース開催 母親教室とパパママ教室をドッキングさせ、父親・母親教室に名称変更した。どの日程でも父親の参加を呼びかけ、沐浴の指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 74人 夫実人数 51人	年4回コース開催 昨年同様沐浴指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 69人 夫実人数 53人	H21年度参加率36.1%、H22年度37.7%で40%台に達していない。理由の一つとして夏冬の参加率が低いことが考えられるので、その時期の対象者には電話か文書にて参加を促す等で参加率40%を目指したい。	Ⅱ－3－(1) Ⅱ－3－(2) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
ふれあい・スポーツ・健康まつりの開催	町民の親睦と協調を図り、より一層のふれあいと連帯感を高め、健康で活力ある住みよいまちづくりを推進します。	健康課	第8回のべ参加者14,000人 健康づくり部会4,000人	第9回のべ参加者14,000人 健康づくり部会3,600人	第10回のべ参加者13,400人 健康づくり部会3,700人	第11回のべ参加者12,200人 健康づくり部会2,500人	緊急財政対策のため事業休止	・21年度実施後、3課で検討の結果、合同実施は休止。 ・22年度、乳がん検診普及啓発のための事業に切り替え、講演会と乳がん自己触診の実習および乳がん検診見学会を1回実施。	
		スポーツ振興課	町民体育祭部会及び健康スポレク部会の2部会構成にて開催 ＜町民体育祭部会＞ 実施内容：運動会 参加者数：3,500人 ＜健康スポレク部会＞ 実施内容：体力測定 各種レクリエーション 参加者数：600人	町民体育祭部会及び健康スポレク部会の2部会構成にて開催 ＜町民体育祭部会＞ 実施内容：運動会 参加者数：3,500人 ＜健康スポレク部会＞ 実施内容：体力測定 各種レクリエーション 参加者数：600人	町民体育祭部会及び健康スポレク部会の2部会構成にて開催 ＜町民体育祭部会＞ 実施内容：運動会 参加者数：3,500人 ＜健康スポレク部会＞ 実施内容：体力測定 各種レクリエーション 参加者数：600人	町民体育祭部会及び健康スポレク部会の2部会構成にて開催 ＜町民体育祭部会＞ 実施内容：運動会 参加者数：3,500人 ＜健康スポレク部会＞ 実施内容：体力測定 各種レクリエーション 参加者数：600人	緊急財政対策のため事業休止	新たな事業へ移行 2 4年度は「スポーツの日」として別の形で実施。	Ⅱ－3－(1)
		福祉課	ふれあい福祉部会 参加者数 6,000人 出店団体数 31団体	ふれあい福祉部会 参加者数 5,500人 出店団体数 33団体	ふれあい福祉部会 参加者数 5,500人 出店団体数 31団体	ふれあい福祉部会 参加者数 5,500人 出店団体数 32団体	緊急財政対策のため事業休止 ※社会福祉協議会主催の寒川町ふれあい福祉フェスティバルを実施 参加者数 約1,000人 出店団体数 33団体		
ふれあい・スポーツ・健康まつりのあり方を検討	ふれあい・スポーツ健康まつりのあり方を検討し、さらに健康で活力あるすみよいまちづくりを推進します。	健康課				健康課(健康づくり部会)は、まつりの中での健康普及は十分できたと考えている。今後は、不特定多数へ啓発を行う、まつりという形態から、個別への啓発へと転換していく	(乳がん検診普及啓発のための事業に切り替え、講演会および検診者見学会を実施)	・21年度実施後、3課で検討の結果、合同実施は休止。 ・22年度、乳がん検診普及啓発のための事業に切り替え、講演会と乳がん自己触診の実習および乳がん検診見学会を1回実施。	
		スポーツ振興課	4部会構成での開催を始めて数年が経過し、様々な問題点が浮上してきた。そのため、今後の事業の在り方を検討するため、担当間で打合せを行った。	前年では解消できなかった、新たに浮上した問題等を解消するため、引き続き打ち合わせを行った。					
		福祉課	会場内での参加者の流れ(各部会間)を研究し、4部会構成(合同)について、検討した。	会場内での参加者の流れ(各部会間)を研究し、4部会構成(合同)について、検討した。					

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
(仮称)総合型スポーツクラブ設立の検討	「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる社会を実現するために、地域住民が自ら運営・管理する新スポーツクラブのシステムづくりを検討します。	スポーツ振興課	5月に寒川総合スポーツクラブとして発足。当年より、各種スポーツ教室を行った。	年間を通して団体の周知を行い、認知度を高めることに努めた。	学校を利用して、定期的に様々なスポーツ教室を始めるとともに、初心者向けのスポーツ教室を行う等事業の拡充を図った。	スポーツ教室、チャレンジポーツの内容を充実させる事を目的に種目数を増やした。また、2月に体育協会、レクリエーション協会と共同してマラソン大会等を実施。	更なる教室数の拡充を図った。		
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、労働者のところとからだの健康づくりについて推進します。 ・無作為抽出250社対象 アンケート方式	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	I－1－(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	こころとからだの健康づくりの充実について実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		
公民館講座の実施	公民館講座を通じて、健康で明るい生活を送るために健康に対する意識の高揚と健康づくりを推進します。(健康セミナーなど)	公民館	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数29人 ＜健康セミナー＞ 丈夫な体をつくり健康について考えた。 人数18人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 人数15人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 全2回 延べ人数32人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人 ＜男の料理教室＞ 男女がお互い尊重し、性別に関係なくその個性と能力を充分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指し、その一環として実施した。 人数11人	＜初心者リズム体操教室＞ 身体に合わせたリズムに乗って体操することにより、健康増進を図った。 全2回 延べ人数40人 ＜ジュニア料理教室＞ 家庭で作る簡単料理を習い、家事に親しみ栄養の大切さを学ぶ。 全2回 延べ人数19人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数20人	＜リズムストレッチ体操教室＞ リズムに合わせてストレッチ体操をして健康増進を図った。 全3回 延べ人数46人 ＜子ども茶会＞ 五感のすべてを使って楽しむ茶道の世界を学び、和の空間で茶会を体験した。 全1回 人数12人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数17人	健康づくりに関する講座や子育て支援に繋がる講座は実施できたが、家庭での男女平等教育の推進にかかる講座の実施が少なかった。男女平等教育とは何かを含め、講座の実施について検討する必要がある。	II－3－(1) III－2－(3) IV－2－(1)

施策の内容 (2)女性の性の尊重

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
心とからだに関する講座の開催	発達段階に応じた食育や運動に関する講座(生活習慣セミナー)、運動による健康づくりや心のセミナーを開催します。	健康課	身体活動・運動・食生活・その他 8回1,845人	身体活動・運動・食生活・その他 48回1,079人	身体活動・運動・食生活・その他 26回574人	身体活動・運動・食生活・その他 9回430人 ＜休養とこころのセミナー＞ 3回81人 ＜健康づくり講演会＞ ～素敵になれるおしやれ講座～ 回42人 ＜健康づくり講座＞ ～骨と関節トラブル予防法～ 2回81人 ＜健康づくり体操＞ 20回1,399人	身体活動・運動・食生活・その他 4回223人 ＜乳がん予防の話＞ 3回41人 ＜健康づくり体操＞ 21回1,428人	・講座が定員割れにならないよう、周知に力を注ぎたい。 ・参加したくなるような講座企画に努めたい。	II－3－(1)

施策の内容 (3)性教育の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
性教育に関する情報提供	広報紙、ホームページなどを通じて、関係機関が実施する相談事業などの情報を提供します。	健康課	電話相談等に対応した。	電話相談等に対応した。	電話相談等に対応した。	電話相談等に対応した。	電話相談等に対応した。相談件数は少ないが、真摯な対応を心がけた。	小中学校への思春期・性教育は保健福祉事務所等で実施されており、教育現場からの要望も少なく、マンパワーも不足なため現状どおりとする。	Ⅱ－3－(2) Ⅱ－3－(3)

基本目標 Ⅲ多様な働き方を可能とする環境づくり

施策の基本的方向 1男女平等な雇用と職場環境の整備

施策の内容 (1)男女雇用平等の推進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動週間による啓発	男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動週間を積極的に実施することにより、男女雇用機会均等法などの意識啓発を推進します。	町民課 (企画課)	広報さむかわ、レディオ湘南にて啓発	広報さむかわ、レディオ湘南にて啓発	広報さむかわ、レディオ湘南にて啓発	広報さむかわ、レディオ湘南にて啓発(ただし、男女共同参画週間についてはレディオ湘南のみ)	広報さむかわにて啓発	引き続き啓発活動を推進していきたい。	Ⅱ－1－(1)
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、職場環境の整備の向上が図られるよう、実態調査のあり方を検討する。	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができられる。	Ⅰ－1－(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	職場環境の整備の向上が図られるよう、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		

施策の内容 (2)労働に関する講座などの充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
労働講座の実施	快適な労働環境整備のための各種講座を関係機関と合同で開催します。	産業振興課	※神奈川県、労政問題懇話会と共催で、「寒川町労働講座」を実施。 参加者58名	※神奈川県、労政問題懇話会と共催で、「寒川町労働講座」を実施。 参加者62名	※神奈川県、労政問題懇話会と共催で、「寒川町労働講座」を実施。 参加者62名	※神奈川県、労政問題懇話会と共催で、「寒川町労働講座」を実施。 参加者66名 ※3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)労働・勤労の担当者間で、原則として各講座について、お互いにPRに協力し、参加者も広域で受講可能とする取り決めを行い、試行的に実施している。	※神奈川県、労政問題懇話会と共催で、「寒川町労働講座」を実施。 参加者73名 ※3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)労働・勤労の担当者間で、原則として各講座について、お互いにPRに協力し、参加者も広域で受講可能とする取り決めを行い、試行的に実施している。		Ⅲ－1－(2)

施策の内容 (3)労働相談の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
労働相談の実施	関係機関と連携を図りながら労働相談を実施します。	産業振興課	※国・県等が実施する労働相談について、広報等で広く町民へPRを行った。	※国・県等が実施する労働相談について、広報等で広く町民へPRを行った。	※国・県等が実施する労働相談について、広報等で広く町民へPRを行った。 ※ハローワーク及びその管内の3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)などで実施する「湘南就職面接会」に相談コーナーを設けた。	※ハローワーク及びその管内の3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)などで実施する「湘南就職面接会」に相談コーナーを設けた。 ※現状では、予算や相談員を含め、町単独で労働相談を実施することは困難なことから、ハローワーク及びその管内の3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)などで実施する「湘南就職面接会」に、相談コーナーを設置した。			Ⅲ－1－(2)

施策の基本的方向 2多様な働き方への支援

施策の内容 (1)多様な就業形態の促進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、就業形態の促進の向上を図ります。	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	Iー1ー(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	就業形態の促進がより図られるよう、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要性があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		

施策の内容 (2)保育環境の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
児童クラブの充実	地域における留守家庭児童の健全な育成を図るため、地域社会の理解を得て児童クラブを委託し、放課後児童の健全育成を年間通して実施します。	子育て支援課	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数163人	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数174人	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数154人 ※一之宮小児童クラブ室設計委託	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数153人 ※全児童クラブ、土曜日開設 ※一之宮小児童クラブ室移転整備	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数134人 ※南小児童クラブを除き延長保育を実施 ※寒小・南小児童クラブ室移転整備	児童クラブ入所希望者は、増加の可能性があり、施設整備等の検討の必要がある。	Ⅲー2ー(1)
延長保育の充実	保護者のニーズに対応した、町立保育園での延長保育を実施します。	子育て支援課	保護者の勤労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。 設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 18年度実績 2,614人	保護者の勤労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。 設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 19年度実績 2,452人	保護者の勤労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。 設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 20年度実績 3,406人	保護者の勤労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。 設置三カ所で実施中 21年度より早朝7:00より保育園を開園する。延長保育は1時間となる。(18:30～19:00) 21年度実績 22,924人	保護者の就労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。 設置三カ所で実施中 22年度実績 17,564人		Ⅲー2ー(1)
休日保育の検討	町立保育園での休日保育について検討します。	子育て支援課	休日に保育園で保育を実施する事が可能か検討した。	休日に保育園で保育を実施する事が可能か検討していたが、保育園の通常保育希望者が多くなり、新規事業の実施検討が困難となったため保留。		次世代育成支援対策行動計画の検討段階で、H18・19の検討結果を踏まえ、H22～H26年度までの実施検討事業から実施目標から外す事となる。			
相談・情報提供の充実	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成など子育て支援センターの充実を図るとともに、育児困難を抱える養育者の育児不安やストレスに対し、自ら問題解決に取り組めるよう支援します。	子育て支援課	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数12,473人 巡回ひろば365人 CATV、及びFMLラジオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,312人 巡回ひろば452人 FMLラジオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,622人 巡回ひろば463人 ・平成20年度より開設時間を1時間延長し、午後4時までとした。FMLラジオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数10,691人 巡回ひろば694人	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,000人 巡回ひろば600人	相談については、年々、相談内容が複雑・多様化しており、更なる関係機関との協力体制をとる必要がある。	Ⅲー2ー(1)
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、保育環境の向上を図ります。	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	Iー1ー(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	保育環境の充実について、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要性があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		

施策の内容 (3)ひとり親家庭への支援の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
ひとり親家庭への支援の充実	ひとり親医療費の助成により経済的支援を行います。	子育て支援課	ひとり親家庭等の方が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限あり)。 実績 受給者数326世帯 8 27人 医 療費 9, 042件 23, 905, 764円	ひとり親家庭等の方が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限あり)。 実績 受給者数331世帯 840人 医療費 9, 980件 26, 129, 001円	ひとり親家庭等の方が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限あり)。 実績 受給者数348世帯 8 85人 医療費 10, 621件 25, 662, 580円	ひとり親家庭等の方が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限あり)。 実績 受給者数345世帯 877人 医 療費 10, 942件 28, 441, 749円	ひとり親家庭等の方が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限あり)。 実績 受給者数344世帯 8 78人 医 療費 10, 915件 28, 298, 647円		Ⅲ－2－(2)
延長保育の充実(再掲)	保護者のニーズに対応した、町立保育園での延長保育を実施します。	子育て支援課	保護者の勤務形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 18年度実績 2, 614人	保護者の勤務形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 19年度実績 2, 452人	保護者の勤務形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。設置三カ所で実施 30分(18:30～19:00) 20年度実績 3, 406人	保護者の勤務形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。設置三カ所で実施中 21年度より早朝7:00より保育園を開園する。延長保育は1時間となる。 (18:30～19:00) 21年度実績 22, 924人	保護者の就労形態の多様化に対応し、延長保育を実施する。設置三カ所で実施中 22年度実績 17, 564人		Ⅲ－2－(1)
休日保育の検討(再掲)	町立保育園での休日保育について検討します。	子育て支援課	休日に保育園で保育を実施する事が可能か検討した。	休日に保育園で保育を実施する事が可能か検討していたが、保育園の通常保育希望者が多くなり、新規事業の実施検討が困難となったため保留。		次世代育成支援対策行動計画の検討段階で、H18・19の検討結果を踏まえ、H22～H26年度までの実施検討事業から実施目標から外す事となる。			

施策の基本的方向 3仕事と家庭・地域活動との両立支援

施策の内容 (1)家庭・地域活動などへの参加の促進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
相談・情報提供の充実(再掲)	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成など子育て支援センターの充実を図るとともに、育児困難を抱える養育者の育児不安やストレスに対し、自ら問題解決に取り組めるよう支援します。	子育て支援課	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数12, 473人 巡回ひろば365人 CATV、及びFMLレディオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11, 312人 巡回ひろば452人 FMLレディオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11, 622人 巡回ひろば463人 ・平成20年度より開設時間を1時間延長し、午後4時までとした。FMLレディオ湘南にてPRLした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数10, 691人 巡回ひろば694人	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11, 000人 巡回ひろば600人	相談については、年々、相談内容が複雑・多様化しており、更なる関係機関との協力体制をとる必要がある。	Ⅲ－2－(1)
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、地域活動などへの参加の促進を図ります。	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができられる。	Ⅰ－1－(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	男女がともに家庭。地域活動などへの参加出来るよう、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		

施策の内容 (2)育児・介護休業などの制度の周知及び普及の促進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
勤労者実態調査の実施(再掲)	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的に3年ごとに実施し、その結果を通知することによって、制度の周知や普及の推進を図ります。	産業振興課			町内企業役250社を対象にアンケート調査を実施した。 ※7月1日を調査の基準日としたため、リーマンショック以降の実態と大きく乖離している状況にある。 ※緊急対応として、輸出(特に自動車産業)が問題となっていたことから、12月に町内の主な自動車関連業者を数社企業訪問して、聞き取りによる実態把握に努めた。	※今年度は、不況業種が全ての分野に及んだことから、町内の主要企業数社に対して、11月末に商工会担当者とともに企業訪問を実施して、聞き取りによる町内企業の実態把握に努めた。 ※景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	※平成22年度も、継続して企業訪問を実施。 ※平成23年度に予定していた「勤労者実態調査」については、実施することとした。 ※平成23年度も企業訪問を継続して実施する予定。	・3年ごとに実施しているため、急激な社会情勢の変化に対応できない。 ・調査項目が幅広くなりすぎると、勤労に特化した調査ができなくなる。 ・企業訪問などにより直接的な聞き取り調査を毎年実施していくことの方が、現実的な実態把握ができると思われる。	I-1-1(1)
勤労者実態調査のあり方の検討(再掲)	育児、介護休業などの制度が周知や普及されているか、実態調査のあり方を検討します。	産業振興課	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の調査項目について検討した。	勤労者実態調査の実施に伴い、全庁的に質問内容についての意見を聞き、改善を加えて調査を実施した。	景気低迷による予算不足のなかで、引き続き、アンケート調査を実施する必要があるのかを検討した。	景気低迷による予算不足の中で、引き続きアンケート調査を実施する必要があるか検討した結果、平成23年度実施予定「勤労者実態調査」は実施することとした。 ※出来る限り、雇用・労働条件の関係についての設問を充実する方向で検討を進める。		

施策の内容 (3)地域での子育て支援の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
相談・情報提供の充実(再掲)	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成など子育て支援センターの充実を図るとともに、育児困難を抱える養育者の育児不安やストレスに対し、自ら問題解決に取り組めるよう支援します。	子育て支援課	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数12,473人 巡回ひろば365人 CATV、及びFMレディオ湘南にてPRした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,312人 巡回ひろば452人 FMレディオ湘南にてPRした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,622人 巡回ひろば463人 ・平成20年度より開設時間を1時間延長し、午後4時までとした。FMレディオ湘南にてPRした。	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数10,691人 巡回ひろば694人	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を実施。 子育て支援センターを開設(設置1箇所) 総利用人数11,000人 巡回ひろば600人	相談については、年々、相談内容が複雑・多様化しており、更なる関係機関との協力体制をとる必要がある。	Ⅲ-2-1(1)
児童クラブの充実(再掲)	地域における留守家庭児童の健全な育成を図るため、地域社会の理解を得て児童クラブを委託し、放課後児童の健全育成を年間通して実施します。	子育て支援課	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数163人	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数174人	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数154人 ※一之宮小児童クラブ室設計委託	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数153人 ※全児童クラブ、土曜日開設 ※一之宮小児童クラブ室移転整備	保護者が労働等により放課後屋間家にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。 5施設(5小学校区)で実施。 実績人数134人 ※南小児童クラブを除き延長保育を実施 ※寒小・南小児童クラブ室移転整備	児童クラブ入所希望者は、増加の可能性があり、施設整備等の検討の必要がある。	Ⅲ-2-1(1)
公民館講座の実施(再掲)	公民館講座を通じて、家庭教育における親子のコミュニケーションづくりと子どもの健やかな成長、心豊かな想像力を育むことを目的とし、家庭教育の充実を図ります。(親子ふれあい教室など)	公民館	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数29人 ＜健康セミナー＞ 丈夫な体をつくり健康について考えた。 人数 18人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを推進した。 人数 15人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを推進した。 全2回 延べ人数32人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人 ＜男の料理教室＞ 男女がお互い尊重し、性別に関係なくその個性と能力を充分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指し、その一環として実施した。 人数11人	＜初心者リズム体操教室＞ 身体に合わせたリズムに乗って体操することにより、健康増進を図った。 全2回 延べ人数40人 ＜ジュニア料理教室＞ 家庭で作る簡単料理を習い、家事に親しみ栄養の大切さを学ぶ。 全2回 延べ人数19人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数20人	＜リズムストレッチ体操教室＞ リズムに合わせてストレッチ体操をして健康増進を図った。 全3回 延べ人数46人 ＜子ども茶会＞ 五感のすべてを使って楽しむ茶道の世界を学び、和の空間で茶会を体験した。 全1回 人数12人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数17人	健康づくりに関する講座や子育て支援に繋がる講座は実施できたが、家庭での男女平等教育の推進にかかる講座の実施が少なかった。男女平等教育とは何かを含め、講座の実施について検討する必要がある。	Ⅱ-3-1(1) Ⅲ-2-1(3) Ⅳ-2-1(1)

基本目標 IV男女共同参画社会への意識づくりと教育の推進

施策の基本的方向 1男女共同参画への意識づくりの推進

施策の内容 (1)男女共同参画に関する意識啓発の充実

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
パパ・ママ教室、母親教室の開催(再掲)	妊娠中の健康管理、赤ちゃんのお世話の仕方、沐浴実習、お産のすすみ方、仲間づくり、妊娠中の栄養、食事記録のチェックやグループワークを行います。	健康課	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 76人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 56人 夫実人数 48人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 60人 夫実人数 54人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 65人 夫実人数 60人	年間4コース開催 母親教室とパパママ教室をドッキングさせ、父親・母親教室に名称変更した。どの日程でも父親の参加を呼びかけ、沐浴の指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 74人 夫実人数 51人	年4回コース開催 昨年同様沐浴指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 69人 夫実人数 53人	H21年度参加率36.1%、H22年度37.7%で40%台に達していない。理由の一つとして夏冬の参加率が低いことが考えられるので、その時期の対象者には電話か文書にて参加を促す等で参加率40%を目指したい。	Ⅱ－3－(1) Ⅱ－3－(2) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)
育児教室	保護者が乳児にスキンシップをすることで、乳児と保護者の間の愛着形式を促す知識と技術を提供します。	健康課	年4回ベビーマッサージ教室を開催した。 参加者数 母79人 父2人	年4回ベビーマッサージ教室を開催した。 参加者数 母86人 父0人	年4回ベビーマッサージ教室を開催した。 参加者数 母104人 父1人	ベビーマッサージ教室は20年度で終了。 スキンシップの大切さの普及や具体的な方法の一つとしてのベビーマッサージの仕方は、新生児・乳児訪問を通じて実施した。	新生児・乳児訪問や父親・母親教室の中で、父母に対し子どもとのスキンシップの大切さを伝えている。	教室以外の場で保護者に対し、スキンシップの大切さやその方法、機会を見つけて大切さを伝えていくようにします。	Ⅱ－3－(1)
生涯学習講座などの実施	PTA指導者研修会や家庭教育講演会・人権連続講座・人権セミナーを開催し、男女共同参画の意識付を図ります。	生涯学習課	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・校外3回開催 参加者数103人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数112人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者8人 ＜人権教育連続講座＞ 3回開催 延べ52人 ＜人権教育セミナー＞ 1回開催 参加者数13人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・校外3回開催 参加者数100人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数129人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者22人 ＜人権教育連続講座＞ 3回開催 延べ52人 ＜人権教育セミナー＞ 1回開催 参加者数7人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会3回開催 参加者数104人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数135人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者13人 ＜人権教育セミナー＞ 2回開催 参加者数69人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会3回開催 参加者数114人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数146人 ＜人権教育講演会＞ 2回開催延べ31人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者25人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会2回開催 参加者数75人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数158人 ＜人権教育講演会＞ 1回開催延べ18人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者21人	受講者はある程度意識を持った人であり、本来必要とする人が受講していない傾向にある。	Ⅳ－1－(2)

施策の内容 (2)男女共同参画に関する情報提供

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
介護講習への男女の参加支援	認知症介護教室や家庭介護教室などを開催し、男女がともに介護を担うといった意識啓発を推進します。	高齢介護課	＜家族介護教室＞ 2コース 全6回 ・実人数不明 (男 不明 女不明) ・延べ人数30人 (男 不明 男 不明) ・認知症高齢者介護教室＞ 2コース 全8回(2×4) (2コース合同開催1回あり、実開催は7回) ・実人数17人 ・延べ人数(男女比不明)	＜家族介護教室＞ 2コース 全6回 ・実人数17人 (男 3人 女14人) ・延べ人数39人 (男 7人 女32人) ・認知症高齢者介護教室＞ 1コース 全8回 ・実人数10人 ・延べ人数46人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数8人 (男 0人 女8人) ・延べ人数16人 (男 0人 女16人) ・認知症高齢者介護教室＞2コース 全8回(2×4) ・実人数35人 ・延べ人数85人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数12人 (男 2人 女10人) ・延べ人数20人 (男 4人 女16人) ・認知症高齢者介護教室＞1コース 全3回 ・実人数不明 ・延べ人数24人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数27人 (男 7人 女20人) ・延べ人数39人 (男 8人 女31人) ・認知症高齢者介護教室＞1コース 全3回 ・実人数不明 ・延べ人数29人 (男女比不明)	・家庭における介護は、家事とともに女性が多く携わっている状況にあるが、男性介護者も年々増加していると推測される。しかしながら、当該事業への男性参加実績には繋がっていない。広報等で行っている事業の開催・参加案内時に、男性の方が参加しやすい表現や配慮が必要。	Ⅲ－2－(3)
生涯学習講座などの実施(再掲)	PTA指導者研修会や家庭教育講演会・人権連続講座・人権セミナーを開催し、男女共同参画の意識付を図ります。	生涯学習課	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・校外3回開催 参加者数103人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数112人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者8人 ＜人権教育連続講座＞ 3回開催 延べ13人 ＜人権教育セミナー＞ 1回開催 参加者数13人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・校外3回開催 参加者数100人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数129人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者22人 ＜人権教育連続講座＞ 3回開催 延べ52人 ＜人権教育セミナー＞ 1回開催 参加者数7人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会3回開催 参加者数104人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数135人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者13人 ＜人権教育セミナー＞ 2回開催 参加者数69人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会3回開催 参加者数114人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数146人 ＜人権教育講演会＞ 2回開催延べ31人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者25人	＜PTA指導者研修会＞ 役員研修会・全体会・広報部会2回開催 参加者数75人 ＜湘南三浦地区指導者セミナー＞ 参加者数158人 ＜人権教育講演会＞ 1回開催延べ18人 ＜家庭教育講演会＞ 1回開催 参加者21人	受講者はある程度意識を持った人であり、本来必要とする人が受講していない傾向にある。	Ⅳ－1－(2)
公民館講座の実施(再掲)	公民館講座を通じて男女共同参画の意識づくりを図ります。(おとこの料理教室、環境セミナー、料理講座、古典文学講座など)	公民館	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数29人 ＜健康セミナー＞ 丈夫な体をつくり健康について考えた。 人数 18人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 人数 15人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 全2回 延べ人数32人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人	＜初心者リズム体操教室＞ 身体に合わせたリズムに乗って体操することにより、健康増進を図った。 全2回 延べ人数40人 ＜ジュニア料理教室＞ 家庭で作る簡単料理を習い、家事に親しみ栄養の大切さを学ぶ。 全2回 延べ人数19人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数20人	＜リズムストレッチ体操教室＞ リズムに合わせてストレッチ体操をして健康増進を図った。 全3回 延べ人数46人 ＜子ども茶会＞ 五感のすべてを使って楽しむ茶道の世界を学び、和の空間で茶会を体験した。 全1回 人数12人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数17人	健康づくりに関する講座や子育て支援に繋がる講座は実施できたが、家庭での男女平等教育の推進にかかる講座の実施が少なかった。男女平等教育とは何かを含め、講座の実施について検討する必要がある。	Ⅱ－3－(1) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)

					<div><男の料理教室> 男女がお互い尊重し、性別に関係なくその個性と能力を充分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指し、その一環として実施した。 人数11人</div>				
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策の基本的方向 2家庭や学校などでの男女平等教育の推進

施策の内容 (1)家庭での男女平等教育の推進

事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点	第3次プラン
介護講習への男女の参加支援(再掲)	認知症介護教室や家庭介護教室などを開催し、男女がともに介護を担うといった意識啓発を推進します。	高齢介護課	＜家族介護教室＞ 2コース 全6回 ・実人数不明 (男 不明 女不明) ・延べ人数30人 (男 不明 男 不明) ＜認知症高齢者介護教室＞ 2コース 全8回(2×4) (2コース合同開催1回あり、実開催は7回) ・実人数17人 ・延べ人数(男女比不明)	＜家族介護教室＞ 2コース 全6回 ・実人数17人 (男 3人 女14人) ・延べ人数39人 (男 7人 女32人) ＜認知症高齢者介護教室＞1コース 全8回 ・実人数10人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数8人 (男 0人 女8人) ・延べ人数16人 (男 0人 女16人) ＜認知症高齢者介護教室＞2コース 全8回(2×4) ・実人数35人 ・延べ人数85人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数12人 (男 2人 女10人) ・延べ人数20人 (男 4人 女16人) ＜認知症高齢者介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数不明 ・延べ人数24人 (男女比不明)	＜家族介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数27人 (男 7人 女20人) ・延べ人数39人 (男 8人 女31人) ＜認知症高齢者介護教室＞ 1コース 全3回 ・実人数不明 ・延べ人数29人 (男女比不明)	・家庭における介護は、家事とともに女性が多く携わっている状況にあるが、男性介護者も年々増加していると推測される。しかしながら、当該事業への男性参加実績には繋がっていない。広報等で行っている事業の開催・参加案内時に、男性の方が参加しやすい表現や配慮が必要。	Ⅲ－2－(3)
男性の意識啓発などの講座の実施(再掲)	男女のセミナーや男と女のおしゃれ講座などを開催し、男性の参加を呼びかけます。	町民課(企画課)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) はじめてのアサーティブトレーニング 平成18年11月9日(木)・16日(木)・22日(水) 参加者104名 (男12名、女90名) 男と女のおしゃれ講座 心の健康考えましょう 平成19年2月3日(土) 参加者45名 (男17名、女28名)	男女のためのパワーアップセミナー(全3回) 子育て学級「勇気付けの子育て・夫婦のわかし愛、思春期の子育て」 平成19年11月9日(金)・17日(土)・20日(火) 参加者24名(男2名、女21名) 男と女のおしゃれ講座 春休み親子クッキング教室 平成20年3月29日(土) 参加者9名 (男2名、女7名)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 女性のためのセルフディフェンス 平成21年1月20日(火)・27日(火) 参加者15名 (女性のみ) 男と女のおしゃれ講座 男の料理教室 平成21年3月28日(土) 参加者11名(男性のみ)	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) リラクゼーション・護身術 平成22年1月19日(火)・26日(火) 参加者15名 (女性のみ) 男と女のおしゃれ講座 男の料理教室 平成21年10月24日(土) 参加者21名(男性のみ) 2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業・講演会「共に生きるフォーラムふじさわ」の案内を広報さむかわに掲載し、町民の参加を募った。	男女のためのパワーアップセミナー(全2回) 護身術で守ろう、自分のところからだ 平成23年2月4日(金)・ 18日(金) 参加者25名 (女性のみ) 2市1町藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業「男女共同参画週間特別講演会～男女がともに思いやり、いきいき過ごせるまちづくり～」 平成22年6月25日(金) 講師：前千葉県知事 堂本 暁子氏	・定員に対して参加者が少ない。 ・参加できる世代が限られてしまう。 土、日曜日の開催など工夫が必要。	Ⅰ－2－(2) Ⅲ －2－(3) IV －1－(1) IV －1－(2) IV －2－(1)
パパ・ママ教室、母親教室の開催(再掲)	妊娠中の健康管理、赤ちゃんのお世話の仕方、沐浴実習、お産のすすみ方、仲間づくり、妊娠中の栄養、食事記録のチェックやグループワークを行います。	健康課	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 76人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 56人 夫実人数 48人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 60人 夫実人数 54人	年間4コース開催 パパママ教室は土曜日開催 ＜母親教室＞ 妊婦実人数 73人 夫実人数 0人 ＜パパママ教室＞ 妊婦実人数 65人 夫実人数 60人	年間4コース開催 母親教室とパパママ教室をドッキングさせ、父親・母親教室に名称変更した。どの日程でも父親の参加を呼びかけ、沐浴の指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 74人 夫実人数 51人	年4回コース開催 昨年同様沐浴指導は日曜日に開催した。 ＜父親・母親教室＞ 妊婦実人数 69人 夫実人数 53人	H21年度参加率36.1%、H22年度37.7%で40%台に達していない。理由の一つとして夏冬の参加率が低いことが考えられるので、その時期の対象者には電話か文書にて参加を促す等で参加率40%を目指したい。	Ⅱ－3－(1) Ⅱ－3－(2) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)
公民館講座の実施(再掲)	公民館講座を通じて、家庭教育における親子のコミュニケーションづくりと子どもの健やかな成長、心豊かな想像力を育むことを目的とし、家庭教育の充実を図ります。(親子ふれあい教室など)	公民館	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数29人 ＜健康セミナー＞ 丈夫な体をつくり健康について考えた。 人数 18人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 人数 15人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人	＜男の料理教室＞ 家庭でできる料理教室の実習 全2回 延べ人数28人 ＜健康セミナー＞ 健康に対する意識と健康づくりを増進した。 全2回 延べ人数32人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、そば打ち教室を行った。 人数20人 ＜男の料理教室＞ 男女がお互い尊重し、性別に関係なくその個性と能力を充分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指し、その一環として実施した。 人数11人	＜初心者リズム体操教室＞ 身体に合わせたリズムに乗って体操することにより、健康増進を図った。 全2回 延べ人数40人 ＜ジュニア料理教室＞ 家庭で作る簡単料理を習い、家事に親しみ栄養の大切さを学ぶ。 全2回 延べ人数19人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数20人	＜リズムストレッチ体操教室＞ リズムに合わせてストレッチ体操をして健康増進を図った。 全3回 延べ人数46人 ＜子ども茶会＞ 五感のすべてを使って楽しむ茶道の世界を学び、和の空間で茶会を体験した。 全1回 人数12人 ＜メンズクッキング教室＞ 団塊世代の男性を対象とし、家庭でできる料理として、魚のさばき方と料理をした。 人数17人	健康づくりに関する講座や子育て支援に繋がる講座は実施できたが、家庭での男女平等教育の推進にかかる講座の実施が少なかった。男女平等教育とは何かを含め、講座の実施について検討する必要がある。	Ⅱ－3－(1) Ⅲ－2－(3) Ⅳ－2－(1)

施策の内容 (2)学校での男女平等教育の推進								
事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点
個性が尊重される学習内容・方法・指導の充実	学習指導要領に基づく教科・道徳・特別活動・「総合的な学習の時間」などにおける個性を生かした教育活動の推進を図ります。	学校教育課	・中学校では、選択授業で数種類の講座を設け、生徒が自己の興味・関心・意欲に基づいて学習できるようにした。 ・中学校体育科の授業では、種目選択を実施し、ダンス・武道・球技など男女の隔てなく学習できる機会を設けた。 ・小中学校ともに、総合的な学習時間では、子供たちの興味・関心に基づいた課題を設定して学習に取り組んだ。 ・それぞれの学習が充実したものとなるように、教員は研修・研究に取り組んだ。	・中学校では、選択授業で数種類の講座を設け、生徒が自己の興味・関心・意欲に基づいて学習できるようにした。 ・中学校体育科の授業では、種目選択を実施し、ダンス・武道・球技など男女の隔てなく学習できる機会を設けた。 ・小中学校ともに、総合的な学習時間では、子供たちの興味・関心に基づいた課題を設定して学習に取り組んだ。 ・それぞれの学習が充実したものとなるように、教員は研修・研究に取り組んだ。	・中学校では、選択授業で数種類の講座を設け、生徒が自己の興味・関心・意欲に基づいて学習できるようにした。 ・中学校体育科の授業では、種目選択を実施し、ダンス・武道・球技など男女の隔てなく学習できる機会を設けた。 ・小中学校ともに、総合的な学習時間では、子供たちの興味・関心に基づいた課題を設定して学習に取り組んだ。 ・それぞれの学習が充実したものとなるように、教員は研修・研究に取り組んだ。	・中学校体育科の授業では、種目選択を実施し、ダンス・武道・球技など男女の隔てなく学習できる機会を設けた。 ・小中学校ともに、総合的な学習時間では、子供たちの興味・関心に基づいた課題を設定して学習に取り組んだ。 ・それぞれの学習が充実したものとなるように、教員は研修・研究に取り組んだ。	・中学校体育科の授業では、種目選択を実施し、ダンス・武道・球技など男女の隔てなく学習できる機会を設けた。 ・小中学校ともに、総合的な学習時間では、子供たちの興味・関心に基づいた課題を設定して学習に取り組んだ。 ・それぞれの学習が充実したものとなるように、教員は研修・研究に取り組んだ。	中学校体育科の武道の授業において、剣道の防具等が必要個数揃えることができず、また長年使用したために消耗しているものを使っている。年齢的に男女同じ防具等を使用することに抵抗を感じることを考えても、武道で使用する備品の充実を図りたい。

施策の内容 (3)学校教育関係者への研修会の充実								
事業名	事業概要	担当課	18年度実施状況	19年度実施状況	20年度実施状況	21年度実施状況	22年度実施状況	課題・問題点
教職員の研修などの充実	男女平等教育を含めた人権教育研修を教職員対象に実施します。	学校教育課	・「豊かな人権感覚を育むために」というテーマで、参加型体験学習を取り入れた人権教育研修会を開催した。(講師:湘南三浦教育事務所 社会教育主事 41名参加) ・「一人ひとりの良さを認め合い、高めあう学校を目指して」をテーマにした、県研究指定校の実践を学ぶビデオフォーラムを開催した。(講師:相模原市立田奈中学校教諭 佐藤久雄氏、渡辺浩氏、44名参加)	・「個々のニーズに応じた支援教育の進め方」というテーマで、模擬ケース会議の演習を通して、学校における支援体制づくりについて学ぶ教職員研修会を開催した。(講師:県立総合教育センター教育相談課長、瀬戸ひとみ氏 63名参加) ・「子どもたちとのよりよい人間関係を構築するには」というテーマで、大和市立鶴間中での実践を学ぶ教職員研修会を開催した。(講師:元大和市立鶴間中学校長 手塚文雄氏 47名の参加) ・「カウンセリングマインドの向上のために」というテーマで、ワークショップを取り入れた実技研修として教職員研修会を開催した。(講師:寒川中学校スクールカウンセラー、中野早苗氏 39名参加) ・町初任者研修会で「教職員として人権教育を進めるにあたって」の講義を行った。	・「気になる子の理解と対応」というテーマで、支援教育の視点に立った実践力を身につけるための教職員研修会を開催した。(講師:東海大学文学部教授 芳川 玲子氏 他 53名参加) ・町初任者研修会で「教職員として人権教育を進めるにあたって」の講義を行った。	・「困った子は困っている子、今支援教育をどうすすめるか」というテーマで、特別支援学校における実践を学ぶ目的で教職員研修会を開催した。(講師:県立茅ヶ崎養護学校教諭 松島 ふみ子氏、蔭山栄一氏 70名参加) ・町初任者研修会で「教職員として人権教育を進めるにあたって」の講義を行った。	・「通常級における課題をもつ子どもへの指導・支援の具体」というテーマで、特別支援教育に関する教職員研修会を開催した。(講師:東京学芸大学准教授 小笠原恵氏 70名参加) ・町初任者研修会で「いじめの事例研修会」を行い、児童、生徒の人権について研修を深めた。また、「支援教育」についての講義を行い、その後、ことばの教室、相談指導教室を見学し、説明を受けた。(初任者 12名)	児童・生徒の人権に関する研修会は、開催することができたが、男女平等教育という視点での研修会を行うことができなかった。今後の教職員研修会のテーマに男女平等教育という視点にあった研修会を盛り込んでいく必要がある。町初任者研修会では、児童・生徒理解が中心となるが、男女平等教育という視点からも講義ができると良い。
IV-2-(2)								